

■令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)事業の交付金の具体的使途等

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
1	みやぎへの人流創出プロジェクト	R5～R7	69,367	34,683	<p>1 仕事を通じた関わりの創出 51,188千円 (1)副業・兼業マッチングサイト運営費及び企業伴走支援 36,850千円(委託費) 副業・兼業に関するマッチングサイトの運用や企業に対し、副業・兼業人材活用のメリットや留意事項等の周知を図るとともに、求人募集内容の作成支援や面談サポート等を行う。また本県の取組や地域の魅力を周知・広報する。 (2)インターシップ受入企業開拓・伴走支援 14,338千円(委託費) 上記のほか、様々な企業や業種を経験できるパッケージ型インターシッププログラムの開発を行う。</p>	(1)委託先:リージョンズ株式会社 (2)委託先:富士通Japan株式会社	
					<p>2 地域での交流を通じた関わりの創出とその土台づくり 8,899千円 (1)選ばれる農山漁村地域推進事業 8,899千円 ①パートナーシップづくり支援事業 3,846千円(委託費:3,002千円、補助金:844千円) これまでの取組内容を踏まえ、地域が主体となって活動できるよう支援するとともに、事業終了後も大学や外部人材が地域への関わりに継続できるような仕組みづくりを行う。 ②農山漁村しごと・くらし体験支援事業 5,053千円(委託費) これまでの取組実績を踏まえ、長期的な受入も開始し、事業終了後も継続して実施できる受入体制を確立する。</p> <p>(2)プレイパークづくり 4,598千円 継続的にプレイリーダーによる管理運営を行うほか、事業の自立に向け、これまで蓄積したノウハウを活かし、次年度以降のプレイリーダーの育成に向けた取組を推進する。 ・プレイリーダーによる公園管理運営費 4,598千円(委託費)</p>	①委託先:(株)東北農都共生総合研究所 補助対象:県内大学等 ②委託先:(株)スリーデイズ 委託先:冒険あそび場ネット・プレーワーカーズ共同事業体	
					<p>3 多文化共生の推進 4,526千円 市町村が開設した日本語学校の安定的な留学生の確保のほか、送出国の新規開拓も視野に入れて、相手国の政府機関や大学等と協議や調整等を行うとともに、留学生を含む外国人材の地域適応に資する仕組みの構築等を行う。 ①コーディネーター人件費 1,406千円(6月まで専門家を直接雇用し支援) 地域における留学生の受け入れ体制の整備に向けた市町村の取組に対する専門的な助言等を行うコーディネーターを配置。 ②公立日本語学校設立・運営支援 3,120千円(7月から専門家を委託料(人件費、旅費、需用費等)により派遣) 日本語学校の安定運営に向けたコーディネーター派遣による助言等に加え送出国関係機関等との調整を行う</p>	①コーディネーター:民間日本語学校の開設・運営に専門的知見を有する人材 ②委託先:一般財団法人東北多文化アカデミー	

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
2	農林水産業の次世代人材育成プロジェクト	R5～R7	78,538	39,269	多様な人材受入のための環境整備や就業希望者支援に向け、就農支援の専門家の配置、SNS等での広告発信、合同企業説明会の開催によるマッチングの推進等を行う。また、スマート機器の普及やデジタル人材育成に向け、スマート農業の専門家の配置やデジタル先進機器のモデル的導入支援を行う。さらに、農林水産業者の経営力向上に向け、販売会への出店の補助や異業種連携等に向けたオンライン講座等を行う。	<p>1 新たな担い手の掘り起こし 59,709千円 (1) 農業分野 12,751千円 ①多様な人材受入のための環境整備や就業希望者支援に向け、就農支援の専門家を配置し伴走支援を実施する 4,620千円(人件費) ②障がい者雇用に向け農福連携マッチング支援等を行う 3,800千円(委託費) ③営農開始に必要な機械・施設導入に対する補助を行う 4,000千円(補助金) ④障害者等が働きやすい環境の整備に対する補助を行う 331千円(補助金)</p> <p>(2) 林業分野 17,235千円 ①就業ガイダンスや就業支援研修等の実施のほか、SNS等での情報発信を行う 12,616千円(委託料) ②林業事業体への安全装備の導入の支援による労働安全の向上や林産物を使った新たなビジネスへの支援を行う 1,898千円(委託料:1,464千円、需用費等(事務費):434千円) ③UI/ターン者を中心とした新規就業者に必要な備品等の補助を行う 2,721千円(補助金)</p> <p>(3) 漁業分野 29,054千円 ①就業希望者の掘り起こしやワンストップでの支援体制構築に向け、みやぎ漁師カレッジ(長期・短期研修)等を開催する 26,158千円(委託料:25,318千円、需用費等(事務費):840千円) ②漁業者が組織する団体(青年部、女性部等)による先進地視察及び実証的な取組(養殖試験、試作試験等)を支援する 1,794千円(補助金) ③漁協等による沖合遠洋漁業就業者確保の取組に対して支援する 1,102千円(補助金)</p>	<p>②委託先:(株)プロジェクト地域活性 ③補助対象:新農業人、中小規模家族経営体 ④補助対象:認定農業者等</p> <p>①②委託先:公益財団法人みやぎ林業活性化基金 ③補助対象:認定事業主</p> <p>①委託先:(公財)宮城県水産振興協会 ②補助対象:宮城県漁協支所青年部、女性部、宮城県漁業士会等 ③補助対象:宮城県北部船主協会</p>
						<p>2 デジタル人材の育成 10,301千円 (1) 農業分野 8,510千円 ①スマート機器の普及やデジタル人材育成に向け、スマート農業コンシェルジュを配置し、現場指導を行う 4,304千円(人件費) ②中小養豚・養鶏農家に対して、労働生産性の改善に向けたICT・IoT機器の導入に向けた研修会を開催する 129千円(報償費) ③就農者へのスマート機器の貸出・実践研修用にスマート機器を整備する 4,077千円</p> <p>(2) 林業分野 1,791千円 ・デジタル機器をモデル的に導入する支援を行うとともに、新規就業者に必要な備品等の補助を行う 1,791千円(補助金)</p>	<p>②報償費支出先:国立大学法人宇都宮大学、(株)ジョイ・ワールド・パシフィック、(株)farmo</p> <p>・補助対象:宮城県育成経営体、認定事業主</p>
						<p>3 経営力の向上 8,528千円 (1) 農業分野 8,000千円(委託料:5,000千円、補助金:3,000千円) ・県内独自銘柄の畜産物及びそれを原料とする製品を販売する販売会を開催するとともに、生産者に対し販売会への出店を補助する。</p> <p>(2) 漁業分野 528千円 ・各市町村との連携等を推進するためのオンライン講座・漁業担い手確保連携会議を実施する 528千円(報償費等:492千円、役務費等:36千円)</p>	<p>・委託先:(株)ユーメディア ・補助対象:県内独自銘柄の畜産物及びそれを原料とする製品を出展する6事業者</p> <p>報償費支出先:税理士、社会保険労務士、大学教授等</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
3	DX技術導入や地域連携を主軸とした農林業の構造改革推進事業	R6～R8	86,244	43,122	人口減少の影響が強い農林業において、生産現場でのDX技術導入を推進するとともに、加工～販売において低生産者と関係業者をマッチングし、高収益の商品開発やサプライチェーン構築を支援する。また、人材確保に向け、高校生や未経験者まで支援対象を広げ地域全体で育成を図る。これらの取組により、生産、加工・流通・販売、人材育成を包括的に支援することで、産業構造全体を改革する。	<p>1 DX技術導入による生産性向上 10,899千円 (1)農業分野 10,899千円 ①研修会の開催やアドバイザー派遣、現地実証等により、DX技術導入等を行う 1,980千円(需用費等:233千円、報償費等:1,747千円) ②DX技術を活用したみやぎ米の生育診断技術を開発する 1,647千円(人件費、旅費、需用費、報償費、使用料及び賃借料) ③みやぎ米の栽培技術向上・品質向上に向けた技術開発を行い、web等で情報発信する 5,272千円(人件費、報償費、旅費、需用費、使用料及び賃借料) ④農業用ドローンの操縦に必要な知識及び技能の習得を支援する 2,000千円(補助金)</p>	<p>①報償費支出先:研修会講師、ICT企業、実証農業者 ②報償費支出先:実証ほ設置農家 ③報償費支出先:実証ほ設置農家 ④補助対象:農業用ドローンを利用する県内の認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者又は集落営農組織</p>
						<p>2 高付加価値化・サプライチェーン構築 57,084千円 (1)農業分野 44,798千円 1年目で確立したモデルケースを周知しながら、各事業者に当該取組の効果を理解いただき、広く事業の参集者を募って事業計画の策定と実施を促していく。 ①仙台牛の高付加価値化・ブランド化に必要な成分分析や評価の実施 16,318千円(委託料:12,614千円、人件費:2,670千円、需用費等:1,034千円) ②対応可能な加工、求める納入形態及び流通業情報を収集・蓄積(需用費 18千円) ③加工・販売業者と生産者のマッチング 602千円(報償費、旅費、需用費等) ④加工・販売業者と生産者の連携等による付加価値向上に資する商品開発の試作等に掛かる経費の補助や商品開発を支援する 20,864千円(補助金(バリューチェーン分):19,500千円、補助金(みやぎの米～分):364千円、委託料(地域資源活用型～分):1,000千円) ⑤販路開拓に向け、情報発信、大規模商談会の開催 6,996千円(委託料:4,922千円、負担金等:2,074千円)</p> <p>(2)林業分野 6,500千円 ①県内の広葉樹資源の調査及び選木技術者育成のための研修会を実施する 3,500千円(委託料) ②県産広葉樹の認知度向上のための広報活動を行う 3,000千円(委託料)</p>	<p>①委託先:(株)MIJ labo、仙台中央食肉卸売市場(株)、倉敷紡績(株) ③報償費支出先:プレイントラストアンドカンパニー(株)、経営コンサルタント事務所アズライト ④補助対象(バリューチェーン分):県内に事業所を有する食品製造事業者等 補助対象(みやぎの米・大豆等～分):県内に事業所を有する食品関連企業等 委託先(地域資源活用型～分):(株)ビビッドガーデン ⑤委託先: 負担金支出先:宮城・山形合同商談会実行委員会</p> <p>①委託先:宮城県森林組合連合会 ②委託先:株式会社ビー・プロ</p>
						<p>3 人材育成・確保 18,466千円 (1)農業分野 2,581千円 ①教育機関、行政機関、産業界・NPO法人等で構成されたコンソーシアム形成・運営 85千円(報償費:76千円、需用費等(事務費):9千円) ②コンソーシアムと連携した研修実施等 213千円(需用費等(事務費):213千円) ③商品開発に係る事業 2,283千円(需用費:1,000千円、委託費:995千円、使用料等:288千円)</p> <p>(2)林業分野 15,466千円 ①産業界等多様な主体と連携・協働した人材育成プログラムの実施 6,281千円(報償費・旅費(講師費用):4,986千円、需用費等(実習資材等):1,295千円) ②広葉樹利活用に関する研修会等の実施 1,000千円(委託料) ③林業実習機材購入費 274千円(備品購入費) ④事務推進費 7,911千円(需用費等(事務費):2,244千円、委託料:1,500千円、人件費:2,820千円、施設運営費:1,347千円)</p>	<p>・コンソーシアムの名称:いしのまき人財育成パートナーシップ協議会 ・コンソーシアムの構成員:石巻商業高校、水産高校、石巻工業高校、石巻北高校、石巻市、石巻専修大、石巻市教育委員会、東部地方振興事務所、宮城ヤンマー(株)、一般財団法人まちと人と ①報償費支出先:石巻専修大学、宮城ヤンマー ②報償費支出先:研修先</p> <p>①報償費支出先:みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修講師 ②委託先:林業・木材製造業労働災害防止協会 宮城県支部 ④委託先:bmpd</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
4	インバウンド需要獲得と海外販路開拓の好循環創出事業	R6～R8	187,521	93,760	<p>体験型の観光コンテンツ造成や、県産品のプロモーションやOMO物産展の開催等によるブランド化の促進により、外国人観光客の誘客や輸出の強化につなげる。また、処理水放出の制限等に対応するため、新たな海外販路を支援し、県産品の露出機会の増加や認知度向上を図る。これらの取組により、インバウンド需要獲得と輸出を通じた海外販路開拓との好循環を創出し、国内市場の縮小が見込まれる中でも地域産業の発展を実現する。</p>	<p>1 外国人観光客の誘客 60,000千円 (1)1年目に造成したナイトコンテンツの効果を踏まえた新たな観光コンテンツの造成を行い、多賀城市及び周辺市町の魅力度向上及び宿泊者数の増加に取り組む 60,000千円(委託料)</p>	・委託先:株式会社ICHICO
						<p>2 県産品ブランド確立 46,936千円 (1)出荷、販売事業者と連携したプロモーション 10,934千円 ①販売者等が行うみやぎ米のブランド化プロモーションへの支援を行う 10,794千円(補助金) (補助対象経費:みやぎ米の販路拡大及び新商品開発・PR活動等に係る経費) ②みやぎ米生産者と実需者の情報交換等を開催する 140千円(旅費、需用費等)</p> <p>(2)プラットフォームの構築及びOMO型プロモーション 36,002千円 1年目に構築したプラットフォームのアクセスデータや物産展の来場者属性(AIカメラで測定)を踏まえ、効果的なプラットフォームの運用方法やOMO物産展の開催方法(開催場所や出展商品を含む)の見直しを行った上で、ニーズの高い国・地域をターゲットとした効果的な事業展開を行う。 ①県産品アンテナサイトの構築・運営 20,482千円(委託料) ②県産品事業者向けセミナー開催 1,584千円(委託料) ③OMO物産展開催 13,936千円(委託料)</p>	<p>①補助対象:米穀販売事業者・米穀卸販売事業者、農地所有適格法人、農業者を含む協議会等の団体</p> <p>委託先: ①(株)トラベルジップ ②(株)ビビッドガーデン ③(株)ジェイアール東日本企画仙台支社</p>
						<p>3 海外市場への販路開拓支援 80,329千円 (1)県産食品の現地需要発掘(対北米等) 8,920千円 ・現地需要調査、有望地域における県産品のプロモーション、県内事業者向けに輸出規制に関する啓発、米系飲料店等新規ターゲット調査を行う 8,920千円(委託料:8,569千円、需用費(事務費)等:351千円)</p> <p>(2)本県輸出基幹品目の海外市場に対応した商品開発・輸出支援 22,763千円 ・輸出に取り組む事業者増加に向けた県内事業者へのセミナー開催、海外商談会等への参加や商談支援を行う(海外プロモーション(イベント開催、広告等)、新規輸出品目のテスト輸送、商品ブラッシュアップ等) 22,763千円(委託料:20,000千円、人件費:2,653千円、需用費等(事務費):110千円)</p> <p>(3)日本酒のプロモーション(対欧米) 13,016千円 ①日本酒と現地の料理とのペアリング手法を用いて、英国以外の欧州でのプロモーションを行う 10,208千円(委託料:10,000千円、使用料:208千円) ②米国においては姉妹友好関係等も活用し、人的ネットワークを活用したプロモーションを行う 2,808千円(委託料:2,372千円、需用費等(事務費):436千円)</p> <p>(4)県産食品に係る県内企業と海外バイヤー等とのマッチング 13,594千円 県内事業者の輸出相談等支援や海外展開支援、商談会の開催や海外バイヤーとのマッチング支援、生産・加工・流通・販売事業者が連携して行う付加価値の高い輸出モデル構築に向けた取組への支援を行う。 ・国際認証取得費、海外商談会等への参加費用、輸出モデル構築に向けた取組に係る経費への補助 4,000千円(補助金) ・県産品販路拡大コーディネーターによる中小企業への支援 7,514千円(人件費等) ・宮城県食品輸出促進協議会との連携によるセミナー開催やプロモーション・マッチング支援 2,080千円(負担金等)</p> <p>(5)県産工芸品等のものづくり製品のプロモーション 22,036千円(委託料:16,348千円、補助金:5,500千円、報償費:52千円、使用料:136千円) 県内事業者の海外商談会への出展や海外テストマーケティング等への支援、海外情報発信拠点における県産工芸品の認知向上、販路開拓に向けたPR、1年目を踏まえた支援内容の改良、支援内容及び成功事例の周知展開を行う。 ・補助対象経費:海外企業との商談のための渡航や通訳に要する経費、海外で開催される商談会・展示会等への出展・展示物の輸送・渡航に要する経費、製品に係る資料・HP等の翻訳に要する経費 ・委託料内訳:国際展示会出展支援業務費、県産工芸品海外販路開拓支援業務費、ジャパン・ハウス・ロンドンにおける仙台筆筒を中心とした宮城県プロモーション業務費等</p>	<p>委託先:カメイ株式会社</p> <p>委託先:株式会社仙台水産、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、株式会社アライドコーポレーション</p> <p>①委託先:ブルーファーム株式会社、国分東北株式会社 ②委託先:上組航空サービス株式会社</p> <p>・補助対象:県産食品の輸出拡大に向けて海外商談会に出展する県内事業者等 ・負担金支出先:宮城県食品輸出促進協議会</p> <p>①委託先: (国際展示会出展支援業務)株式会社七十七銀行 (県産工芸品海外販路開拓支援業務)株式会社門間筆筒店 (ジャパン・ハウス・ロンドンにおける仙台筆筒を中心とした宮城県プロモーション業務)仙台筆筒協同組合 ②補助対象:以下の条件を全て満たす事業者 ・宮城県内に登記簿上の本店又は主たる事業所を有する中小企業者であること ・製造業(食品を除く)を主たる事業として営む者であること ・自らが製造した製品について、上記本店等が主体として海外販路開拓等の計画を有すること ・みなし大企業でないこと ③報償費支出先:株式会社こけしのしまぬき、株式会社仙台三越、株式会社藤崎、宮城県海外販路開拓アドバイザーTom Myerscough氏</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
5	生産力強化×販路開拓×農山漁村発イノベーション推進事業	R7～R9	197,581	98,790	<p>「DXを中心とした生産力強化×加工・販路開拓×農山漁村発イノベーション」に一体的に取り組むことで、農林水産業の生産量増加及び担い手の確保・育成を図る。これらの取組を実施することにより、本県の農林水産分野を、収益性が高く若者から選ばれる産業へと転換し、地方創生の実現を目指す。</p>	<p>1 生産力強化 114,133千円 (1)-a いちごの需要拡大対応型生産体制構築事業(ソフト) 4,698千円 輸出等の需要拡大に対応できる県産いちごの生産体制を構築するため、担い手確保や若手農業者の育成、既存生産者の作期拡大支援に取り組む。 ①産地育成計画の策定と実践に向けた協議 445千円(報償費、旅費(対象:協議に参加する農業法人等)、需用費、役務費、使用料)宮城県いちご振興協議会での協議(8月、1月) ②輸出等の需要拡大に対応したいちご産地の育成 2,046千円 ・輸出等の需要拡大に対応した生産体制モデルの構築支援 393千円(補助金) いちご輸出拡大サポート事業、いちご共同パッキングセンターモデル実証事業 ・輸出産地拡大に向けた収量向上及び高温対策試験、いちごIPMマニュアル作成に向けた病虫害防除試験、いちご栽培現地指導の実施や、海外品種登録の実施 1,653千円(需用費、役務費) ③輸出等の需要拡大に向けたプロモーション及び新品種の普及検討 1,550千円(報償費、需用費、役務費、使用料) ・インバウンド客へのPR等を目的とした「いちごマルシェ2026」の開催や、新品種みやぎ3号の現地試験・栽培研修会。 ④需要拡大に対応可能な将来の産地を担う若手人材の確保育成支援 657千円(報償費、旅費、需用費、使用料) 新規栽培意向者を対象としたいちご講座「みやぎのいちごづくりスタート講座」(全4回)の開催。</p> <p>(1)-b いちごの需要拡大対応型生産体制構築事業(ハード) 6,231千円(補助金) 補助目的・内容:輸出等の需要拡大に対応した生産体制モデルの構築を図るため、需要期の収量増加のための機器の導入を支援する。 導入実績:細霧冷房装置、炭酸ガス局所施用装置等</p> <p>(2)-a スマート水産業推進プロジェクト(ソフト) 396千円(報償費:41千円、需用費等:355千円) 各種勉強会に参加し、全国におけるスマート水産業の先進事例や先端技術等の情報収集を行う。</p> <p>(2)-b スマート水産業推進プロジェクト(ハード) 1,812千円(備品購入費) 1年目は養殖業の現場へのスマート機器の普及・啓発を図るため、アシストスーツを購入して漁船漁業者へ貸し出し、試験操業・実証試験等により、その効果検証や意見の収集等を行う。</p> <p>(3)水産業従業員宿舎整備事業(ハード) 100,000千円(補助金) 補助目的・内容:沿岸部の水産業の担い手確保のための従業員居住環境確保のため、水産加工業者及び漁業協同組合等が従業員用宿舎整備を行う費用を助成する。</p>	<p>①報償費支出先:(株)一莓一笑、(株)トライベリーファーム、(株)GRA ②補助対象:JA全農みやぎ、JA仙台 ③報償費支出先:現地試験生産者3名、(株)トライベリーファーム、研修会講師1名、(株)ソネック ④報償費支出先:研修会講師1名、(株)やまもとファームみらい野、(株)GRA、(株)Punks Farmer、(株)ベリープラネット、(株)IDEAL、いちごトレーニングセンター修了生2名</p> <p>補助対象:(株)アグリバレット、(株)やまもとファームみらい野、(株)はる農園、名取・山元いちごファーム、(株)トライベリーファーム、(株)一莓一笑、(株)ごえん</p> <p>貸出対象:漁業協同組合等</p> <p>補助対象:水産加工業者4者及び漁業3者</p>
						<p>2 販路開拓 70,450千円 (1)商工団体と連携した訪日外国人向けビジネスチャンス創出事業 1,022千円(補助金:846千円、報償費:168千円、旅費(対象:アドバイザー(外部有識者)):8千円) 増加する外国人居住者や外国人旅行者等をターゲットとした地域事業者の商機創出(商品開発や販路開拓、集客の強化など)に取り組む商工団体に対して助成を行う。</p> <p>(2)中小企業販路開拓総合支援事業 32,550千円(補助金) 企業が販路開拓を行うにあたり抱える課題に対して、①、②、③のとおり段階別に支援を行う。 (補助率:10/10、実施主体:公益財団法人みやぎ産業振興機構) ①市場投入支援 10,494千円:県内の中小企業者等が試作・開発又は生産・製造する商品・製品及び技術について、市場ニーズに適合した製品化及び製品のブラッシュアップを図るため、マーケティング専門家(委託)を活用したマーケティング調査を行うことで企業のマーケットインへの取り組みを支援し、製品の効果的な市場投入を促進する。 ②販売力向上支援 1,860千円:県内の中小企業者等が生産・製造する商品・製品を対象に、外部専門家を活用した営業力向上及び商品力向上のための診断・助言を行い、販路開拓及び販路拡大を図る。 ③引合せ支援 7,237千円:首都圏等へ販路開拓及び販路拡大を目指す県内の中小企業等の製品について、販路開拓ナビゲーターを活用した企業引き合わせを行い、新たな取引機会を提供する。 ④事業実施主体の事務費 12,959千円</p> <p>(3)首都圏等における「県産品が売れる仕組みづくり」販路拡大支援事業 9,208千円(委託費) 県産品の新たな露出機会を創出するため、首都圏の既存店舗を活用し、商品の試飲・試食後にその場やECサイトから購入でき、「リアルとデジタル」の双方のメリットを生かした「OMO常設コーナー」を6か月間設置する。また、試飲・試食時のアンケートやスタッフによる聞き取りにより消費者の生の声を収集し、事業者にフィードバックすることで販売戦略や商品改善等に繋げる。</p> <p>(4)みやぎ材ウッド・チェンジ普及推進事業 10,500千円(補助金) ①みやぎ材建築競争力強化支援事業 3,000千円:木材利用のメリットや意義をはじめ、みやぎ新材やCLTユニットのPR、県内施設紹介動画など、県産材利用のきっかけ作りに向けた営業ツール開発など、広報宣伝活動に必要な経費を支援する。 ②みやぎ材魅せる設計支援事業 7,500千円:県産材を活用し、社屋や事務所、商業施設、宿泊施設などといった非住宅建築物等の新築又は増築、改築の設計に要する経費を支援する。</p>	<p>補助対象:仙台商工会議所、南三陸商工会 報償費支出先:アドバイザー(外部有識者)(事業の評価書作成及び事業報告会におけるアドバイスに係る謝金)</p> <p>補助対象:公益財団法人みやぎ産業振興機構</p> <p>委託先:(株)ジェイアール東日本企画仙台支社</p> <p>①補助対象:宮城県CLT等普及推進協議会 ②補助対象:宮城県建築士事務所協会(予定)</p>
						<p>3 農山漁村発イノベーション 12,985千円 (1)農山漁村ニュービジネス創出事業 4,999千円(委託費) 食品製造業者などの多様な事業者と連携して新商品・サービスの開発に取り組みたい農林漁業者等が、スムーズに連携先を探し出し、開発事業に取り組めるように、連携候補先の情報を公開し、マッチングに結びつけるウェブサイト「つながる みやぎのOEM」をつくり、農林漁業者と多様な事業者等とが連携に結びつく仕組みを構築する。 ・OEMを含めた多様な事業者との連携を求める農林漁業者等に対し、連携先を紹介する「ウェブサイト(つながる みやぎのOEM)の構築と情報発信」(ウェブサイトの構築、保守管理、CMS等の内容調整費、WEB・SNSによる発信等に係る経費) ・食品製造業者を中心とした多様な事業者への「ネットワーク参画の勧誘、OEM対応条件等のヒアリング・精査・連携」を要望し、助言を求める農林漁業者に対するサポート(コーディネーターの手当・旅費)</p> <p>(2)農泊地域の周遊ビジネスモデル事業 7,986千円(委託費) 農泊地域相互の広域的な連携による周遊性の向上と体験プログラムの造成による長期滞在化によって収益性向上を図るため、 ・企画力を発揮できる人材の育成(講師謝金・旅費、会場使用料等事務費) ・モデル地区における広域連携交流会の開催(ファシリテーター謝金・旅費、受注者旅費、会場使用料等事務費) ・デジタル技術導入方針の検討(講師謝金、受注者旅費、会場使用料等事務費) ・体験コンテンツを見える化し、農泊地域のビジネス化に必要な旅行会社等とのマッチング支援(事務局旅費、会場使用料等事務費)などを行う。</p>	<p>委託先:(株)ビビッドガーデン</p> <p>委託先:(株)JTBコミュニケーションデザイン</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
6	多様な人材活躍によるインクルーシブ社会実現推進事業	R7～R9	141,493	70,746	より多くの人材に本県で活躍してもらうために、多様な人材に対して、『人材獲得』と『受入体制整備』の両面から支援する。この取組により、社会減(東京への人材流出)の進行に歯止めをかけ、若者・女性・多様な人材に選ばれ、活躍できるインクルーシブな地域社会が形成されることを目指す。	<p>1 若者・女性・障害者人材の確保 78,902千円 (1)若者の県内就職支援 40,150千円(委託費(人件費、謝金、旅費、消耗品費、使用料、需用費)) ・県内就職情報総合ポータルサイトの開設 本県や市町村が実施する学生等の就職支援、企業の採用関係の発信力強化を図るため、県内企業の就職採用情報、行政が行う各種支援施策だけでなく、企業が主体的に先輩社員の声やその企業の魅力を発信する仕組みを取り入れたウェブサイト構築。 ・県内企業と学生とのマッチング支援 若者の首都圏流出を防ぐため、県内の企業が県内の大学生等に就職先として選ばれるよう、上記ポータルサイトを通じた企業の魅力発信を行うとともに、インターンシップ受入支援を受けた県内企業と学生等との就活マッチングイベントや県主催での県内企業インターンシップ、支援企業が参加する合同企業説明会を開催。</p> <p>・小中学生へのキャリア形成支援事業 小中学校へ訪問し、県内各地域のものづくり企業を中心とした若手社員等との交流やものづくり体験から、勤労観、職業観の醸成及び地域企業の仕事や魅力等を学ぶ機会を提供するとともに、地域の特色ある産業分野に関連する内容を組み入れ、情報発信や理解促進を図る。</p> <p>(2)女性の活躍推進 10,862千円(委託費等(人件費、謝金、旅費、使用料、需用費、役務費)) ・みやぎの輝く企業訪問ツアー 県内外の大学と連携して女性活躍や多様な働き方などに取り組む県内企業を訪問し、現場見学や意見交換を行うバスツアーを参加費無料で実施する。実施に当たっては魅力ある県内企業と関係性が深い民間事業者に委託して大学や企業との調整を行う。</p> <p>・女性の活躍推進に関するセミナー等 大学と連携して、ワーク・ライフ・バランスの講義を専門とする講師を招いてのグループワークと先輩を招いてのトークセッションを実施する。また、女性経営者及び従業員の意識改革やキャリアアップに向けたセミナーや、他企業の女性活躍の優良事例を紹介するセミナーをそれぞれ参加費無料で開催する。実施に当たっては、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性活躍推進に関する大学や講師との連絡調整及び謝金等について業務委託を行い実施する。</p> <p>(3)障害者雇用マッチング機会創出の支援 27,890千円(委託費(人件費、旅費、一般管理費等)) ・企業訪問による障害者雇用・訓練・実習等に関する助言や、企業向けテレワーク就労の講習等によるスキルアップ支援 ・労働局等と連携し、県内企業と障害者による合同就職面接会を開催。</p>	<p>委託先:富士通Japan株式会社</p> <p>委託先:株式会社マナライブ、一般社団法人ICTてらこや、株式会社JMTC、學志のつどい、計4団体</p> <p>委託先:株式会社プレスアート 事業骨子の企画:宮城県 事業詳細(訪問先企業等)の企画・調整及び運営:株式会社プレスアート 企画・運営内容の監督:宮城県</p> <p>委託先:株式会社プレスアート 事業骨子の企画:宮城県 事業詳細(講師等)の企画・調整及び運営:株式会社プレスアート 企画・運営内容の監督:宮城県</p> <p>委託先:stosdesign株式会社が運営主体となり、女性活躍推進等に関するセミナーを開催。</p> <p>委託先:株式会社チャレンジドジャパン</p>
					<p>2 多様な人材の県内定着促進 22,345千円(委託費:21,461千円、報償費:160千円、需用費等:724千円) ・地域の人材受入体制の強化 上記1で確保した人材がスムーズに県内定着できるよう、移住・定住に積極的に取り組む主体(市町村・団体・民間等)の体制強化を図る。具体には、各主体が自身の地域特性を把握し、移住ターゲットを絞りこめるよう、分析・指導を行う。加えて、分析をもとに上記1で確保した人材を効率的に受け入れられるよう、ワンストップ型の相談対応を行う。 ①地域特性、移住ターゲットを具体化するための分析(ペルソナ分析等) ②分析を踏まえたワンストップ型相談対応</p>	<p>委託先:(公社)ふるさと回帰・移住交流推進機構、(株)イメージパーク、(株)Wasshoi Lab、(株)スリーデイズ 報償費支出先:あぼーぼら・いしのまき農園、(株)アキツツーリズムファクトリー</p>	
					<p>3 企業の受入体制整備 40,246千円 (1)インターンシップ受入支援 19,674千円(委託費(人件費、謝金、旅費、消耗品費、使用料)) インターンシップ実施経験の浅い県内企業等に対してセミナーやコンサルティング支援によるインターンシップの受入や採用のノウハウを提供する。</p> <p>(2)女性活躍推進体制の構築 3,572千円(委託費等(人件費、旅費、需用費、使用料)) ・女性活躍推進等に関する課題の抽出・取組計画の策定 支援対象企業ヒアリングにて、女性活躍推進や経営等に関する課題の抽出を行い、改善に向けた取組計画を策定する。 ・専門家の派遣 支援対象企業に対し、専門家を月1回程度派遣し、取組計画をもとに企業の体制構築を進める。</p> <p>(3)障害者雇用推進ネットワークの構築 11,000千円(委託費(人件費、旅費、消耗品費、需用費)) ・県や市町村、関係機関、地元企業が参画する「障害者雇用推進ネットワーク」を構築し、ネットワーク内での情報交換や企業と関係機関の連携を通じて、障害者雇用の事例共有や地域における企業と求職障害者とのマッチングを推進し、県内の障害者雇用率の向上を図る。 ・障害者雇用コーディネーターを設置し、企業に対して障害者雇用のための社内体制整備、ミスマッチを防ぐ取組み、採用後の対応に関する助言等支援を継続的に行う。</p> <p>(4)DX経営人材の育成支援 6,000千円(補助金) ・DX経営人材育成支援事業費補助金 県内企業の中核人材等を対象にした、民間有識者、学術機関等によるAI・IoT、DX戦略、情報セキュリティ等のデジタル化・DXにフォーカスした講義や実地研修の実施に対する補助</p>	<p>委託先:富士通Japan株式会社</p> <p>委託先:stosdesign株式会社が運営主体となり、支援対象企業に対し専門家を派遣し、企業の体制を構築。</p> <p>委託先:株式会社チャレンジドジャパン</p> <p>補助対象:公益財団法人みやぎ産業振興機構を運営主体とした「DX経営人材育成塾」事業の実施</p>	

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
7	「オルレ」を基軸とした 欧州・アジア顧客獲得事業	R7～R9	210,870	105,435	新規オルレを含む海外需要の高いコンテンツを造成し、関係の深いアジア圏を中心にPRすることで誘客を促進するとともに、長期滞在の傾向があり、観光消費額が高い欧州からの誘客を促進するため、欧州向けのPR及び受入環境整備を進める。加えて、地域で運用できる体制を整備することで、観光産業の振興及び地域活性化を達成する。	<p>1 宮城オルレ等の推進 68,744千円 (1)アジア・トレイルズ・カンファレンス開催 68,744千円(委託料(人件費、使用料、需用費等)) アジアをはじめとする世界中のトレイル愛好者が参加し、参加者がともに歩き、開催地の自然や歴史・文化、食文化などを楽しむ国際的イベントであるアジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)を開催することにより、全世界のトレイルファンに本県の魅力を伝える絶好の機会とし、本県の認知度向上及びさらなる誘客推進につなげ、県内の宿泊や周遊を促し、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげる。</p> <p>(2)宮城オルレ新規コース造成及び国内外向けPR 77,626千円(委託料:70,959千円、報償費:3,808千円、負担金:1,004千円、需用費等:1,855千円) 新規コースの造成支援やコースオープンに伴うイベントを実施する。また、宮城オルレ推進に係る国内向けPR(既存コース及び他トレイル団体との連携PR等)及び国外向けPR(多言語版ガイドブックやWEBサイトの制作、東北6県の連携した招請事業、ソウル事務所による韓国現地PR等)を実施する。</p>	<p>委託先:株式会社ICHICO</p> <p>委託先:公益社団法人宮城県観光連盟、公益社団法人宮城県国際経済振興協会、株式会社ICHICO、株式会社JTB仙台支店 報償費支出先:宮城オルレアドバイザー 負担金支出先:社団法人済州オルレ</p>
						<p>2 デジタルを活用した観光プロモーション 18,300千円 (1)東北観光DMP運営事業 6,500千円(委託料(人件費、使用料、需用費等))(委託料:6,500千円) 東北・新潟域内の観光マーケティングデータを一元化し、可視化、分析を行うためのプラットフォームを、東北観光推進機構を中心に、東北各県、新潟県、仙台市で連携して運営する。 (2)みやぎ観光デジタルプロモーション事業 11,800千円(委託料(人件費、広報費、需用費等))(委託料:11,800千円) 旅行についての情報収集、手配等のデジタル化の進展、個人旅行化が進む中、ビッグデータやVISIT MIYAGI等のオウンドメディアを活用しながら、旅マエ・旅ナカなど各フェーズに応じて、OTAへの掲載を始め、最適な誘客ターゲットに最適な情報をダイレクトに届けるプロモーションを実施するとともに、その効果測定を行う。</p>	<p>委託先:株式会社コミュニナ、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社スプラウトジャパン、一般社団法人東北観光推進機構、株式会社JTBパブリッシング、株式会社ICHICO</p>
						<p>3 新規市場を対象としたインバウンドの促進 46,200千円 (1)東北各県及び仙台市等と連携した欧州プロモーション 16,200千円(委託料:15,000千円、報償費:100千円、需用費等:1,100千円) 東北全体での長期滞在、周遊促進を図るため、新潟県を含めた東北各県、仙台市、東北観光推進機構と連携して、フランスを中心とした欧州へのプロモーションを実施する。 ・現地主要旅行会社のエグゼクティブ層を招請し、首長からのトップアプローチを実施するほか、実務担当者を対象に、欧州のニーズを踏まえた東北周遊型のモニターツアーを実施するなど、旅行商品の造成を強力に働きかける。 ・東北観光推進機構の既存事業とも連携し、インフルエンサーの招請や、現地旅行博へのブース出展によるBotC向けPR、販路の獲得に向けた商談会等を実施する。 (2)欧州からの受入環境整備 30,000千円(委託料(人件費、広報費、需用費等)) 欧州向け観光パンフレット・PRグッズ等を制作するとともに、海外向け公式サイト「Visit MIYAGI」の内容を欧州向けに充実させる。また、地域への誘客効果や地域での受入対応に係るセミナー等を実施する。</p>	<p>(1)委託先:株式会社日本旅行東北 報償費支出先:東日本旅客鉄道株式会社、JNTO/パリ事務所、ジャパンハウスロンドン、欧州旅行会社 (2)委託先:株式会社コミュニナ、株式会社JTB仙台支店、株式会社TBM、株式会社ユーメディア、津山木工芸品事業共同組合、株式会社ライブブリッジ、SOCIALPORT株式会社、MOREDRAW、MKプロデューズ株式会社</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
8	外国人から選ばれるみやぎへ～外国人材獲得・定着サポート推進事業～	R7～R9	167,068	83,534	外国人材の受け入れ先となる県内企業の掘り起こしや外国人材とのマッチングを行うとともに、現地に人材サポートセンターを設置し、現地において本県への就労や留学を希望する学生への支援を行うことで、現地から本県への直接的な人材受入体制を構築する。また、外国政府との覚書に基づき、ジョブフェアや国際交流イベントを開催し、外国人材の受け入れにつなげる。さらに、生活環境や就労環境など賃金水準以外の魅力を訴求することで、本県への定着を図る。その結果、本県における地域の担い手不足や県内企業の人手不足の解消につなげるとともに、国籍を問わず多様な地域の人々が活躍でき、安心して暮らすことができる社会を実現する。	<p>1 外国人材の受入支援 70,266千円 (1)外国人材マッチングの支援 20,000千円(委託費(人件費、謝金、旅費、消耗品費、需用費、使用料)) 県内企業における外国人材の受入について、相談から定着まで企業と外国人材の双方に対して、ワンストップで総合的に支援し、県内企業における外国人材の採用・活用を図る。 ・受入企業向けセミナーの実施や相談窓口の設置により、外国人採用に関する県内企業の理解促進を図る。 ・合同企業説明会等の実施や個別マッチングの実施により、企業と外国人材のマッチングを支援する。</p> <p>(2)外国人材ジョブフェア事業 50,266千円(委託費(人件費、報償費、旅費、役務費、使用料)) 対象国(想定:インドネシア・カンボジア等)を設定し、県内や現地で業界関係者及び複数の県内企業と連携したジョブフェアイベントの実施や実施に向けた対象国の政府機関等との調整を行い、県内企業・監理団体・送出し機関等の関係構築を支援することで、外国人材の受入をより一層促進するとともに、対象国における本県の認知度向上を図る。 実施にあたっては、県内企業における外国人材の需要調査等を行うなど、効果的なマッチングにつなげる。</p>	<p>委託先:東洋ワーク株式会社</p> <p>・インドネシア人材みやぎジョブフェア 運営業務委託先:東洋ワーク株式会社 エクスカージョン実施業務委託先:株式会社JTB ・カンボジアフェア 委託先:株式会社JTB</p>
						<p>2 企業における受入環境の整備 11,965千円(委託費(人件費、謝金、旅費、需用費)) 県内の外国人材採用を目指す企業に対し、専門のコンサルタントを投入し、労働環境や雇用条件等企業ごとに抱える課題をハンズオンで抽出して企業ごとの改善策を提案する(委託費(人件費、謝金、旅費、需用費) 11,965千円)。 ・外国人の採用について、それぞれ異なる課題を抱える県内企業を対象に、企業の経営改善も見据えて課題の洗い出しから解決方法の提案までのコンサルティング業務を行う。</p>	<p>委託先:株式会社学情</p>
						<p>3 外国人材の定着促進 25,604千円 (1)外国人材向け日本語講座の実施 20,000千円(委託費(人件費、謝金、需用費、使用料)) 県内企業に就職が決まった外国人材や、すでに県内で就労している外国人材を対象に、職場での意思疎通を円滑に行えるようにすることや、地域への定着を促すことを目的として、仕事や地域での生活に必要な内容の日本語講座を実施する(対面で、期間は2・3ヶ月程度)。また、フォローアップとして、eラーニング等を活用した日本語能力のブラッシュアップの機会も提供する。 (2)外国人材の県内定着促進事業 3,025千円(委託費(人件費、需用費、役務費、使用料)) 外国人材の本県への愛着や帰属意識を育むことで、外国人材の県内定着を促進することを目的として、宮城県で働く技能実習・特定技能の資格を持つ外国人材同士の交流会事業を実施する。</p>	<p>(1)委託先:一般財団法人 日本国際協力センター (2)委託先:東洋ワーク株式会社</p>
						<p>4 現地における受入体制の構築 59,233千円(委託費) 人材確保の実効性を向上させるため、県として外国人材や留学生の母国に現地拠点機能を確保し、ワンストップの人材サポート体制を構築する。また、現地教育機関・送出し機関等との関係構築や母集団の形成及びマッチング等支援、還流人材の活躍支援を行う。 (1)現地サポート窓口の設置(人件費、消耗品費、需用費、役務費、使用料) ・宮城県での就職・留学に関するイベント・セミナーの開催、SNSやホームページによる情報発信 ・希望やスキル等を踏まえたスクリーニング(母集団の形成) ・現地教育機関等への訪問等を通じた募集ルート開拓 (2)高度人材の就職支援(マッチング)(人件費、広告宣伝費、使用料) ・外国人材を必要とする県内企業とのマッチング支援 (3)留学生募集支援(人件費、旅費、使用料) ・県内公立日本語学校の留学生募集支援(現地留学フェア出展等) ・入学予定者の渡航手続きサポート (4)還流人材のキャリア支援(人材の好循環創出)(人件費、需用費) ・宮城で習得したスキルや日本語を活かした活躍の支援(現地日系企業等との関係構築等) ・同窓会組織等コミュニティの形成支援(還流人材による宮城の魅力発信の強化)</p>	<p>①台湾 委託先:東洋ワーク株式会社 ②ベトナム 委託先:東洋ワーク株式会社 ③インドネシア 委託先:株式会社BREXA CrossBorder</p>

No.	事業名	期間	計画事業費(千円)		事業概要	交付金の具体的使途	実施体制
			総事業費	うち交付金			
9	みやぎ「地域おもてなし力」向上プロジェクト	R7～R9	16,000	8,000	<p>「宮城オルレ」をはじめとする観光コンテンツの魅力や持続性を向上させる質の高いローカルガイドを育成・確保するとともに、学校や地域住民、団体、宿泊施設が連携し、文化体験と宿泊を一体化させた「みやぎモデル」による付加価値の高い体験型コンテンツを提供することにより、地域全体で観光客を迎える体制が整備された、「地域おもてなし力」の向上を目指す。これらの取組により、単なる観光客誘致に留まらない、地域とのより深い交流を促進する「質の高い交流」の実現し、旅行者一人ひとりの体験価値を最大化させることが可能となる。将来的には、これらの取り組みを通じて、本県は自らの文化や資源に誇りを持った地域住民が積極的に訪日外国人との交流に参加できる「共創の場」となることで、持続可能で活力のある宮城県の実現を図る。</p>	<p>1 ローカルガイドの集中育成・確保による宮城オルレ高付加価値化 6,000千円 (1)宮城オルレコース管理市町等と連携したローカルガイド育成・確保体制の構築 2,500千円(委託料(会場使用、講師手配、関係者調整、報償費、需用費等)) インバウンドに訴求するコンテンツとしての宮城オルレの磨き上げを実現するため、コースを管理する各市町や観光協会等と連携し、ローカルガイドの育成・確保に向けた体制を整備する。 (2)インバウンドに訴求するコンテンツ分析 3,500千円(委託料(人件費、分析機関連航費・宿泊費、謝礼等)) 宮城オルレの旅行商品化に向け、分析機関としての役割を担う韓国、台湾、欧米諸国の海外旅行会社や国内外のトレイル団体等を招請し、旅行商品化に向けたガイドの質や必要性について分析を求め、分析結果を踏まえ、ソフト面での磨き上げなど高付加価値化を図る。</p>	<p>(1)委託先:株式会社JTB仙台支店 (2)委託先:株式会社JTB仙台支店</p>
					<p>2 地域全体での訪日教育旅行受入体制の整備 10,000千円 (1)「みやぎ型教育旅行宿泊モデル」構築事業 2,000千円(委託料(セミナー・意見交換に係る会場使用、講師手配、関係者調整、材料費、報償費、需用費等)) 訪日教育旅行で重要視される、旅行先での文化体験を「地域全体」で提供することにより、インバウンドの確実な拡大を図るため、学校、地域住民、ボランティア団体、企業、宿泊施設、市町村、教育委員会等と連携し、訪日教育旅行受け入れに関するセミナーや意見交換会を通じ、学校交流から地域独自の文化体験、宿泊施設での宿泊までをパッケージとした宮城ならではの訪日教育旅行宿泊モデルを構築する。 (2)新たなスタイルへの理解・定着促進事業 8,000千円(委託料(人件費、関係教育機関連航費・宿泊費等)) 台湾の学校の教員、児童・生徒及び保護者等を招請し、「みやぎ型教育旅行宿泊モデル」を実体験させることにより、モデルへの理解と浸透を図るとともに、課題等を把握し、モデルの磨き上げに努める。</p>	<p>(1)委託先:株式会社JTB仙台支店 (2)委託先:株式会社JTB仙台支店</p>	